



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1105

18.05.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命

第二巻：人民の国家

第2部

平和の

国家社会主義とは平和である！

平和」と「平和政策」ほど、民主主義者とボリシェヴィストによって使われた用語は他にない。これはおそらく、「民主主義と人類のための十字軍」である第二次世界大戦の連合国とそのドイツの召使いが、平和秩序の形成と対独戦争の終結に初歩的にさえ成功していないという事実によるものであろう。彼らはそればかりを口にし、ヨーロッパの人々に30年以上も平和が続いていることを証明しようとする。

これは道義的にも法的にも間違っている。ヨーロッパとドイツ、つまり大陸の中心が分裂し、外国の支配者に翻弄されている限り、平和を語ることはできない。

ドイツ国民だけでなく、ヨーロッパのすべての国々は、多かれ少なかれ、2つの超大国に依存し、自由な自己決定で未来を切り開くことを妨げられています。ドイツの真ん中にある恐ろしい出血を伴う国境と、合わせて帝国の領土の約4分の1を占める国境地帯の強奪は、もちろんドイツにとって、他の民族の状況よりもさらにつらいものである。しかし、私たちの同情は、何よりも民族の死の危機にさらされている人々、たとえばバルト諸国民やウクライナ民族に向けられる。ここで平和を語ることは、嘲笑的な皮肉であり、東西の抑圧された人民の顔への平手打ちである。

ヨーロッパのすべての国々に法と自由が確保されていない限り、私たちは、平和条約ではなく、1945年の休戦協定に遡る戦後秩序の中に生きている。ヨーロッパに真の平和秩序を確立し、不幸な戦後秩序をヨーロッパ全体のオクシデンタル-エスニック新秩序に取って代わることが、ドイツ自由運動の目標である！

国家社会主義とは平和である！

道徳的な側面も、法的な状況に対応しています：

絶望的な軍事的展開に鑑み、ドイツ国防軍は1945年5月8日に武装を解いた。この降伏は敵対行為の終了にのみ適用され、大ドイツ帝国の存在やその内部秩序に影響を与えることはなかった。

大統領が任命した帝国大統領デーニッツ大提督とその政府は、事実上、連合国によって支配者として認められた：連合国は、前線部隊による個別の降伏を要求せず、帝国政府に従属するドイツ国防軍最高司令部と全体の降伏の詳細について交渉した。

ドイツ国防軍の無条件降伏の結果は、連合国戦勝国4カ国による帝国領土の完全占領であった。この段階でも、帝国とその政府の法的状況は変わらなかった。この時点まで、帝国は依然として広範な支配力を持ち、その決定は軍や行政機関によっても行われていた。占領統治と数週間後に行われた違法な逮捕は、デーニッツ大提督率いる帝国政府が実際に政府活動を行うことを妨げただけだった。

占領軍による権力の掌握、帝国の分割、オストマルクとその他の国境地帯の分離、その後のそれぞれの占領地における民主的な影の政府とボルシェビキの影の政府の設立は、権力と力とは大いに関係があるが、国際法とはほとんど関係がなく、民族が自らの内部秩序を形成する自由とはまったく関係がないことを心に留めておくことが重要である。

軍事的に降伏したにすぎない国で、正統な政府を逮捕し、占領軍が恣意的に権力を掌握するという前代未聞の盗賊行為は、権利創造行為ではなく、明確な国際法違反である。このことから、次のようになる：

"戦後のドイツ政府は、Brd、Ddr、Br/Austriaにおいて、すべて違法であり、違法だった！"

大ドイツ帝国の唯一の正当な代表者はデーニッツ帝国大統領であり、彼は決して辞任せず、戦勝国による戦後秩序を認めなかった。

大ドイツ帝国は、基本的に3つの柱で成り立っていた：

1945年、**DIE WEHRMACHT**は無条件降伏をした。この休戦協定を破ろうとする試み（例えば人狼の地下組織として）は、何の可能性もないだろう。

国家機構の中心としての**帝国政府**は、総統の死後、デーニッツ大提督に引き継がれた。したがって、デーニッツ大提督は、辞任するか死ぬまでは、大ドイツ帝国の法的な国家元首であるが、年齢的な理由から、もはやドイツの政治闘争に参加することはない。しかし、ドイツ帝国議会議長であり、「ドイツ自由連盟」の指導者である同志マンフレート・レーダーが、大ドイツ帝国の法的代表を引き継いだとき、彼は異議を唱えなかった。この措置が賢明であったかどうかは、将来になってみなければわからない。**NSDAP**は、党と国家の統一に関する法律により、国家の唯一の政治的意思であると宣言された。したがって、この運動は、今日でさえ、国民と帝国のための無制限かつ正当な代弁者である。

もちろん、こうした法的考察は、大ドイツをめざす政治闘争にとって限ら

れた価値しかない。しかし、戦後の東西の占領ドイツ体制の基盤が国際法上いかに脆弱であるか、そしてなぜ私たちが占領国家と戦っているのかを常に思い起こすことは有益である。

私たち国家社会主義者は、戦後の終わりを要求します！

戦後の終わり、それは具体的な意味です：

☐ ナチス禁止令の解除、

☐ 大ドイツ帝国の行動力を回復する、

☐ ドイツ民族の領土保全と国家主権を非合法化し、民族の安全で自由な共存を可能にし、必要なヴォルキッシュ人種の新秩序への道を妨げない汎ヨーロッパ平和条約を目指して、平和交渉を直ちに開始することである。

国家社会主義とは平和である！

実際、ドイツの自由運動は、わが国で「平和政策」のスローガンに真剣に取り組んでいる唯一の政治集団である。平和政策とは、戦後秩序を克服しようとするものである！

平和条約の締結は、法と自由を基礎とするオクシデンタル諸国の真の和解をもたらすことを目的とする。このような平和政策のみが、ドイツに対する第二次世界大戦に終止符を打ち、ヨーロッパで二度と恫喝的な戦争が起こらないという確信を与えてくれるのである。

国家社会主義とは平和である！

したがって、我々は、「民主主義」と「人道」のフレーズの先駆者たち、偉大な「国際法の騎士」たちの言葉をそのまま受け入れる。我々は、かつての敵国とその協力者たちにこう訴える。「ドイツの自由運動をドイツ国民の代表として認め、法と自由の平和を実現しよう！ドイツがいまだに分裂しているのも、ヨーロッパが暴力に基づく平和しか知らず、真の平和を知らないのも、われわれ国家社会主義者のせいではないのだ！」と。

民族の自由戦士とヨーロッパの民衆は、長い間団結してきた。彼らは言う。"白人同士の戦争は二度と起こしてはならない！私たちは平和を望んでいる！"

民主主義者とボルシェビキが戦後の暴力方法を放棄し、国際法を尊重することを拒否するならば、自由戦士たち--ヨーロッパの国家社会主義者、民族社会主義者、ファシスト--が彼らを一掃し、国家間の平和を実現することになる！

国家社会主義とは平和である！

ワールドパワーと世界政治

世界的なナショナリズムの高まりは、米国とソビエト連邦という超大国が地球を二分していた二極世界秩序を崩壊させようとしています。新しいパワーブロックが出現し、中国、アラビア、ブラジルといった大国が目覚めつつある。中国、アラビア、ブラジルなどはその一例です：

世界の分断の終焉は、旧来のパワーブロックの緩みをもたらし、新たに台頭する世界大国との同盟は、ドイツとヨーロッパの分断を克服する「第三の道」の中立政策の可能性を高めます。

新しい列強は、もはや第二次世界大戦の戦勝国には属していない。彼らはドイツに対して、偏見を持たず、部分的には友好的な態度で接している。彼らの重要性の高まりは、戦勝国であるアメリカとソ連の力を打ち砕き、彼らは何十年にもわたって私たちの国民を縛り付けてきたものを緩める。戦勝国のイギリスとフランスは、すでに歴史の闇に沈んでおり、ドイツの再生を妨げることはないだろう。

新勢力の多くは自らを非同盟と定義し、反民主主義、反共産主義、反シオニストと自認する民族主義的世界戦線のパートナーになりうる存在である。国家社会主義のドイツは、この世界戦線に有意義に適合することがで

きるだろう。ここに、ドイツの世界政治の基礎がある。

この文脈で同盟国の名前を挙げることは、もちろん、将来のドイツの外交政策の方向性を予期することを意味するものではなく、また、これらの国が現在の国家と政府の形態において、すでにそのような政策の準備ができていると主張することを意味するものでもない。何か他のものが決定的なのである：

国家社会主義人民国家は、非同盟諸国の指導的勢力に成長し、戦後秩序を一掃し、民族的・人種的基盤に基づく国家共同体の先駆けともいべき民族主義的世界戦線に参加しなければならない。

だから、ドイツは再び世界政治の形成に貢献することになる。

ドイツは世界の大国でありながら、その強大な力をあえて国益の増進のために使うことをしない。私たちはそれを変えていくのです。私たちは、他の大国が私たちの目標に合うように行動するのを待つことはできません。私たち自身が行動するのです！

ハビタット

長い目で見れば、世界のパワーポリティックスは、自由に使える十分な居住空間を持つ国家によってのみ追求されうるのである。しかし、「居住空間」とは、北アフリカやアビシニアでイタリアのために「砂漠を集めた」ムッソリーニのように、単に広い面積を支配することを意味するのではない。むしろ、**Lebensraum**とは、以下のような意味です：

- 食料基地の確保：世界の大国は、必要に応じて自らを養うことができなければならない。封鎖によって重要な神経に打撃を受ける危険にさらされてはならない。第一次世界大戦中、ドイツ帝国は連合国によって封鎖され、ホームフロントの崩壊に大きく貢献したのである。
- 原材料の確保：食品に適用されることは、原材料の供給において、ほぼそれ以上に考慮されなければならない。ここでも、最も重要な原材料の自

給自足または確実な入手が、少なくとも予見可能な将来にわたって可能でなければなりません。

- 人口基盤の確保：世界大国は、現在でも十分な人口を有している必要がある。

第二次世界大戦の東部戦線とアフリカ戦線において、コーカサス軍とアフリカコルプスがトルコの地で出会うという巨大な戦略的挟撃運動は、戦争を決定的にするものであったろう。しかし、8000万人の国家の戦力は、最大限の緊張感をもってしても、これには不十分であった。だから、東部戦線はコーカサスに、アフリカコルプスはエジプト戦線にとどまった。

だから、ドイツが世界の列強の輪の中に入っていこうとするならば、食料と原材料の分野で、少なくとも1億人のドイツ人の自給自足を可能にする支配圏を、当時は必然的に獲得しなければならないのです。

アドルフ・ヒトラーは、早くからこのことを認識しており、ここに大ドイツ帝国の東方拡張が必然であった決定的な理由がある。国家社会主義の世界観とボルシェビキのイデオロギーの間には、致命的な「どちらか一方」だけでなく、ドイツとソビエトの世界権力の間の世界史的な決定もあったのである。ソ連が世界大国に成長し、全世界の自由を脅かしているのは、愚かな反ファシズムの妄想の中で、我々に背を向けるどころか、ボルシェビズムと同盟さえしてしまった西側の犯罪的盲目の結果である。

私たち新世代の国家社会主義者は、世界の権力をめぐるこの闘争の結果から、根本的な結果を導き出さなければならない：

第二次世界大戦中の大英帝国と米国の行動は、西側諸国との反共統一戦線への希望が、虚しい幻想であることを教えてくれる。ソ連を「ドイツのインド」にしようとし、帝国の中立をあてにした国家社会主義の東方拡大政策全体が、まさにこの幻想に基づくものであった。英米の対独政策の誤判断は、二正面戦争と多面戦争を引き起こし、シオニ

ストと反動メーソンの策謀とともに、我々の敗北の原因となった。

今日のこの答えは、西洋のシステムに対抗する断固とした戦線と、ゲルマン民族とスラブ民族の和解と緊密な協力しかないのである！

国家社会主義が東方拡大の思想を放棄する！

東方における我々の領土要求は、1939年9月1日の国境に限られている。 東方拡張の放棄は、もちろん、西方や他の場所で必要な生活空間を征服することを望むという意味ではない。

むしろ、暴力的な征服と白人の内戦の時代は、偉大な植民地帝国の時代と同じように終わったのである。せいぜい、アフリカの黒人国家が自らを統治し、独立する能力がないことを十分に証明していないのではないかという疑問が残る程度である。しかし、アフリカでも、ドイツはもはや西側か東側のどちらかの後ろ盾がなければ生活圏を征服することはできない。そして、その場合でも、コストのかかる海軍を必要とし、それはドイツの政策上の利益にはならない。

世界の権力の座を放棄することは、世界におけるドイツの任務に対する裏切りであり、ヨーロッパにおけるアーリア人種の終わりの始まりである。白人種の中核民族であるゲルマン民族だけが、白人種を救い、人種闘争に勝利し、新しい世界秩序を形成する力を持っていたのです。一方、われわれ国家社会主義者は、白色人種の間で再び恫喝的な闘争を行うことには全く関心がなく、それはまた、われわれ民族の最後の権力の地位を奪い、ドイツを完全に一掃してしまうだろう。しかし、1939年9月1日の大ドイツ帝国という我々の法的国境は、当時少なくとも1億人のドイツ人の自給自足を確保するための生活空間として、単に十分ではない。

それは、生活闘争の法則に従って、ドイツ人のための十分な生活空間のために闘い続けるが、そうするためには、明らかに新しい道を歩まなければならないのである。

私たちが必要とする生活空間は、地中海地域全体、すなわちヨーロッパ全域、トルコ、イラン、アラビア全域を網羅するものであり、言い換えれば、拡大したインペリウム・ロマネムである！



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1973 26. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da in ganz in der Nachkriegszeit. Und zwar tritt sie in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Völkermord und Verbrechen haben nicht angeht, das kann die gesamte Idee unserer hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entschuldigen.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter und Kameraden sondern Schlichter als Schüler im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völkern. Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des hochgeliebten Volkland ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist oben Adolfs, das Volkland - gegen alle weißen Völkern (V) - zu bringen. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überflutung und Kameradenmordung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg bzw. auf dem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!
Gottard Lauth




N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦場は、まさに情報の埋蔵庫です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!
Gottard Lauth



NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichsführer SS Heinrich Himmler</p> <p>FOR DANMARK! MOD BOLSEVISMEN!</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>John Stenhouse for Hitler's Picture Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reinhold Beifuss</p> <p>Hitler in Italy</p> <p>HITLER in ITALIEN</p>  <p>English / German Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint - Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im BOD</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
---	--	--	---	--	---

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to
find out how
YOU can help!